

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- ・平成26年度より、地域移行に関わる保健・医療・福祉従事者等の研修会を実施し、顔の見える関係づくりをすすめている
- ・措置入院者の退院後支援においても、上記の連携を活かした取り組みが図れている

課題	課題に解決に向けた取組状況		取組の成果
・保健・医療・福祉従事者等のネットワークづくり、人材育成	保健・医療・福祉従事者等の多職種での連携を図るため、交流の機会、顔の見える関係づくりをすすめた。		研修開催 テーマ 「措置入院者の退院後支援の取り組み」 参加人数:115名
・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築における協議の場を設置し、地域の課題を検討する	課内での調整を図った		協議の場として地域課題の検討は実施できず
・ピアサポーターの活動と活躍の場を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・研修実施 ・市内の精神科病院等へピアサポーターの活用や地域移行制度について周知を図る ・ピアサポーターの養成と活用 		研修開催 テーマ 「当事者が関わる地域移行支援」 参加人数:43名
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①包括ケアシステム構築に向け、地域分析を進めるためReMHRADなどの情報を活用できる研修等の実施			研修開催、参加人数等
②			

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。